

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆「2%以上」の物価高、3年半続く 25年度見通しは2%台後半が多数

・2%を超える物価高が続いている。総務省が発表した9月の消費者物価指数(CPI)は生鮮食品を除く総合が前年同月比で2.9%上昇。2.0%以上の物価上昇は2022年4月から3年半に達した。25年度後半も2%台が続く見通し。2%以上の物価高が長く続いたのは、30年以上前の1989年春から92年末までに遡る。

◆消費者物価、9月2.9%上昇 4カ月ぶり伸び拡大

・総務省が発表した9月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が111.4となり、前年同月と比べて2.9%上昇。上昇率の拡大は4カ月ぶり。QUICKが事前にまとめた市場予測の中央値は2.9%の上昇だった。政府が前年に電気・ガス料金の補助を実施した反動でエネルギー価格は2.3%の上昇と3カ月ぶりにプラスに転じた。

◆金融庁、中小地銀のシステム統合を後押し 再編なしでも補助金交付

・金融庁は地域の中小金融機関にシステム統合を促すための補助金を新たににつくる。従来は合併や経営統合が前提だったが、再編なしでも補助金を出す。地方銀行などがシステムの共同運用で業務を効率化しながら、安全性の高いインフラを維持できるようにする。金融庁が2025年内に策定する「地域金融力強化プラン」に補助金新設明記予定。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆省エネ事業、11月14日に予約終了 給湯撤去加算は予算9割到達

・国土交通省など3省が連携して行う「住宅省エネ2025」の各事業の交付申請予約が11月14日で受付終了となる。ワンストップ申請を利用した予約についても受付を終了。予約有効期間の超過により却下された案件は、再予約はできなくなる。予約の受付が終了した後も、各事業の上限に達するまで、もしくは12月31日までは交付申請を受け付ける。

◆信越化学工業の純利益12%減、4～9月 中国供給過剰で塩ビ市況悪化

・信越化学工業が発表した2025年4～9月期の連結決算は、純利益が前年同期比12%減の2578億円だった。主力の塩化ビニール樹脂は中国の過剰生産の影響で世界的に価格が低迷し、利益を押し下げた。主要市場の米国での価格引き上げ交渉の行方が焦点になる。純利益は市場予想の平均(QUICKコンセンサス、2623億円)を下回った。

◆LIXIL、「トイレで未来を創るPJ」 東南アジアの学校の衛生環境改善へ

・LIXILは国内のビジネスパートナーであるLIXIL住設・タイル代理店会会員企業と協働し、寄付によって東南アジアの衛生環境改善に貢献する「トイレで未来を創るプロジェクト」を実施すると発表。インドネシアとバングラデシュの学校計10校にトイレを建設し、衛生啓発活動を実施する。11月から工事を開始し、完成は2026年3月以降の予定。

《 注目商品 》

■タカショー、低炭素素材配合のフェンス「モクプラボード ECO」

・湿気による腐食に強く、切断・ビス打ちなどの加工のしやすさなど従来品と同等の性能を備え、アルミなどの素材と比べリーズナブルな製品。カラーは「ダークパイン」と「ブラウンエボニー」の2色。低炭素素材「CR LIMEX(シーアール ライメックス)」を配合。



■ボッシュホーム、節電効果高めたエアコン「白くまくん」発売

・ボッシュホームコンフォートジャパン(旧日立ジョンソンコントロールズ空調)は「白くまくん」プレミアムXシリーズ10商品を10月31日に発売。新たに搭載した「LAB制御」機能は室温が設定温度に達すると、住宅の断熱性能や人の出入りなどの状況をもとに低出力運転に切り替える。



■組み合わせ自由、軽量コンパクトな置き畳

・軽量でコンパクトな縁なしのい草置き畳「湊川(みなとがわ)」を発売した。約65×65cm、重さは約750gと、従来の置き畳(82×82cm)よりも1回りコンパクト。好み・スペースにあわせて自由に組み合わせ、住まい手自身でカットすることもできる。

